

三九四四番

をみなへし 咲きたる野辺を 行き巡り 君を思
ひ出 たもとほり来ぬ

三九四五番

秋の夜は 暁寒し 白たへの 妹が衣手 着
むよしもがも

三九四六番

ほととぎす 鳴きて過ぎにし 岡辺から 秋風吹
きぬ よしもあらなくに